



今月のお知らせ

感染症や気象状況によっては、事業を変更する場合があります。ご了承ください。

健康サロン

日時：9月 1日（火）13時00分～
15日（火）13時00分～
29日（火）13時00分～

場所：さわやか人権文化センター

内容：健康マージャン

～賭けない・飲まない・吸わないをモットーに
仲間づくり・健康づくりを実現しましょう～
初心者歓迎します

健康体操 & おしゃべり会

原則、毎月第2・第4火曜日に開催します。

日 時	場 所
9月8日（火） 10時00分～	上米積 老人憩いの家
9月24日（木）※ 10時00分～	さわやか 人権文化センター

※9月の第4火曜日（9月22日）は休日のため、9月24日に変更します。

内容：高城いきいき体操（健康体操）

健康体操で心と体をリフレッシュ！

日々の生活を快適に過ごすために
体操を続けませんか。

体操で体をほぐしたあとは
おしゃべり会です。

みなさまのお越しをお待ちしています。



みんなの楽級^{がっきゅう}

日時：9月17日（木）13時30分～

場所：さわやか人権文化センター

内容：人権学習 「戦争トラウマ」を知る

終戦から81年。過酷な体験により、心を壊されていった兵士たちは今なおその苦しみのなかにいます。元兵士だけでなく、子や孫まで連鎖しています。（テーマ、内容を変更することもあります）

人権学習のあとに、今後のみんなの楽級の内容について話し合います。

ゆとり教室

日時：9月26日（土）11時00分～

場所：上米積 老人憩いの家

法話：阪本 仁さん

「一緒に生命の大切さを考えましょう」

ペン習字教室

日時：9月28日（月）13時30分～

場所：さわやか人権文化センター

内容：「絵手紙」「実用的な書」

～いつでも、どこでも、
誰でも、楽しめること～



さわやか人権文化センター新任職員

桶本 千春 8月24日より（新規採用）
よろしくお願いいたします。

困りごとはありませんか？ 人権が侵害されていませんか？

悩みごと・生活に困っていることがありましたら、どんなことでも、1人で抱えこまずにご相談ください。

倉吉市 人権政策課
さわやか人権文化センター

差別落書きや差別発言などに遭遇されましたら、倉吉市人権政策課もしくは人権文化センターにご相談ください。

電話 22-8130
電話／FAX 28-2017

さわやか人権文化センターだより

さわやか

2026年9月1日発行 No.383

〔発行所〕さわやか人権文化センター

〔所在地〕〒682-0602

倉吉市上米積 1074-1

〔電話兼ファックス〕0858-28-2017

〔メールアドレス〕sawayaka@ncn-k.net

センターだより「さわやか」に関するご意見・ご要望をおよせください。

久米中学校区内の新任者研修

差別と闘い、命を守る取り組みに学ぶ

7月30日に、久米中学校区同和教育研究協議会現地研修会が開催されました。この研修会は、社、北谷、高城地区の保育園、小学校、中学校、コミュニティセンター、児童センター、人権文化センターなど、教育にかかわる機関へ新たに転任・採用された職員を対象に、同和問題をはじめとする人権問題を学ぶ場です。

今年度は17名の参加者により、フィールドワークと座学で「安全で安心なまちづくり（同和対策事業）」「差別の現実」について研修しました。



現地の取り組みに学びました

研修の座学「安全で安心なまちづくり」とフィールドワークでは、村の災害防止や安全対策、厳しい生活環境の改善事業を、住民は悩みながらも、『一人の問題はみんなの問題』ととらえて進めてきたこと、同和対策事業が被差別部落だけでなく、周辺地域の環境向上につながっていることを学びました。

「差別の現実」では、今も私たちのまわりに部落差別が存在し、差別意識の有無に関係なく差別的な言動が行われる事例を聴き、自分とのかかわりを考える研修となりました。

参加者の感想（一部）

- 同和対策事業で地域は改善した部分もあり、それも、同和教育を通じて周りに働きかけてきたからだと思いました。
- 自分自身の体験で、部落差別につながる言動をしたり聞いたことではないと思っているが、意識せずに差別発言につながっていたこともあるのではないかと振り返る機会となりました。
- 「正しいことを正しく理解する」ことを私たち教員がもっとしていく必要があると強く感じました。



2027(令和9)年度 鳥取県育英奨学生(高等学校等奨学資金)の予約募集【概要】

県内に保護者の住所があり、経済的理由により修学が困難な高等学校等の進学者に育英奨学資金が無利子で貸与されます。この募集は、高校等進学後に奨学資金の貸与を希望する方に対する予約募集です。
(募集人数：250人予定)

申請資格(次の要件をすべて満たす者としてします)

- (1) 保護者の住所が県内にあり、高等学校等(県外含む)に入学しようとする方であること。
- (2) 申請者の属する世帯の年間所得が基準額以下であること。
- (3) 鳥取県から同種類の奨学資金を借りる又は給付を受ける予定がないこと。
- (4) 鳥取県以外の者から、鳥取県育英奨学資金の貸与月額を超える無利子貸与又は給付を受ける予定がないこと。
- (5) 県内に住所を有する方と生計を同じくしていること。
- (6) 修学に対する意欲があること。



国公立の高等学校等			私立の高等学校等		
自宅通学	月額	18,000円	自宅通学	月額	30,000円
自宅外通学	月額	23,000円	自宅外通学	月額	35,000円

連帯保証人等：申込には連帯保証人および保証人が必要です。

申込締切：2026(令和8)年9月18日(金)

※選考結果は2026(令和8)年12月上旬に通知される予定です。
奨学資金は、高等学校進学後も募集があります。

詳細の問い合わせ：
鳥取県教育委員会事務局 育英奨学室
電話：0857-29-7145

第4回倉吉市人権のために学ぶ同和教育講座

共生社会実現に向けて
地域へ恩返し

と き：9月12日(土)
13時30分～15時00分

ところ：倉吉交流プラザ 2階 視聴覚ホール

講 師：福永 幸男 さん
(倉吉市身体障害者福祉協会 会長)

内 容：絵本に込められた思いや実体験を知ること、
障がいのある人の人権について理解を深めます。

- 参加無料。申し込み不要。
- 手話通訳、要約筆記あり。
- 災害時緊急時において中止する場合は、倉吉市公式ホームページでお知らせします。
- 場内誘導等 特別な配慮を希望される方はお知らせください。



人権絵本「わたしの宝物」2022年度作成

倉吉市公式
ホームページ



【お問い合わせ先】 倉吉市人権政策課 電話：22-8130 FAX：22-8230
メール：jinkenseisaku@city.kurayoshi.lg.jp

アンコンシャス・バイアスと性別役割分担意識

日常生活の中で「男だから」「女だから」という理由で、男女の役割や生き方を決めつけていませんか？こうした考えは、自分でも気がつかないうちに身につけている無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)から生まれることがあります。

1 アンコンシャス・バイアスは「見えない心の壁」

アンコンシャス・バイアスは、自分では気がつきにくい無意識の思い込みで、これまでの経験や価値観に影響されて身についたものです。本人が自覚していないため、相手を理解する前に無意識に判断してしまうなど、「見えない心の壁」となることがあります。

例えば…

- ・男女の性別によって仕事や役割を決めること
- ・学歴や年齢、国籍、肌の色などで相手を判断すること



2 性別役割分担意識とは

「女だから」「男だから」など、性別だけを理由に、男女の役割を固定的に決めつける考え方のことです。

例えば…

- ・男は仕事、女は家庭
- ・家事、育児、介護は女性の仕事
- ・組織のリーダーは男性の方が向いている
- ・営業は男性、女性は事務職が適している



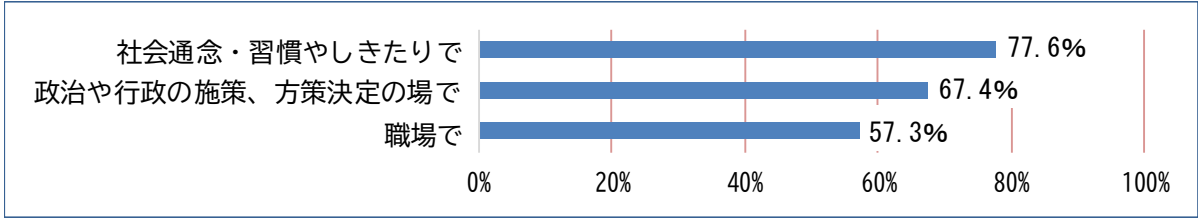
3 アンコンシャス・バイアスと性別役割分担意識の関係

性別役割分担意識は、アンコンシャス・バイアスの一つとして現れることがあります。例えば「男性は仕事、女性は家庭」のような考え方をあたりまえと思っている場合は、長年の生活や経験で身についた無意識の思い込みであることが考えられます。

4 市民意識調査結果から

令和6(2024)年度 倉吉市男女共同参画に関する市民意識調査から、学校、職場、家庭、地域などの様々な場面における男女の地位の平等感について質問したところ、男女の地位が「平等ではない(男性優遇)」と答えた市民の割合は5割を超えており、令和元(2019)年度の調査時から大きな変化はありません。

◆「平等ではない」と答えた市民の割合



立ち止まって考えることの大切さ

アンコンシャス・バイアスは誰もが持っているものです。お互いを尊重し、多様な生き方や考え方を認め合うことから、性別による偏見のない社会への一歩が始まります。性別に関わらず、一人ひとりが自分らしく生きることが出来る社会を実現するためには、「これは性別ではなく、その人自身を見て判断しているだろうか」と立ち止まって考えることが大切です。